

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	環日本海諸国語Ⅲ(ロシア語)	
科目基礎情報							
科目番号	0262			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子情報工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	『初級ロシア語20課』						
担当教員	山本 有希						
到達目標							
1)学習した表現を用いて自己紹介ができるようになる 2)学習した表現を用いて、ロシア語で質問に答えることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)			標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
評価項目1	主として形容詞、動詞の時制、数詞等について、8割以上正しく答えられる。			主として形容詞、動詞の時制、数詞等について、6割以上正しく答えられる。		主として形容詞、動詞の時制、数詞等の正答率が6割に到達しない。	
評価項目2	上記文法事項を活用した口頭表現とその発表がスムーズにできる。			上記文法事項を活用した口頭表現及びその発表ができる。		上記文法事項を活用した口頭表現及びその発表が満足にできない。	
評価項目3	実施される単語テストにおいて正答率が8割を超える。			実施される単語テストにおいて正答率が6割を超える。		実施される単語テストにおいて正答率が6割に達しない。	
学科の到達目標項目との関係							
MCCコア科目 ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	【学習目標】 ロシア語初級文法・会話の学習を通じて、ロシアという国の社会や文化に親しむ。						
授業の進め方・方法	教員単独による講義および演習						
注意点	(授業改善策) 学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう努める。 評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を60点とする。 (備考) 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画、評価方法及び評価項目は変更することがある						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1)ガイダンス 2)復習		1)授業に関する説明を行う 2)昨年度の既習事項を振り返る		
		2週	第11課		「読み終わりましたか？」 動詞の体		
		3週	第11課		「読み終わりましたか？」 動詞の体と時制		
		4週	第12課		「私は忙しかった」 完了体を用いる未来形		
		5週	第12課		「私は忙しかった」 形容詞短語尾形・1人称命令法		
		6週	第13課		「スープは何かおすすめですか？」 造格の用法		
		7週	第13課		「スープは何かおすすめですか？」 疑問詞＋不定形		
		8週	中間試験		既習事項の確認を行う		
	2ndQ	9週	1)試験返却 2)第14課		1)試験返却と解説 2)「ご気分はいかがですか？」		
		10週	第14課		「ご気分はいかがですか？」 形容詞・副詞の比較級		
		11週	第14課		「ご気分はいかがですか？」 所有・存在の否定生格		
		12週	第15課		「ちょっとお伺いしますが…」 無人称文		
		13週	第15課		「ちょっとお伺いしますが…」 сказатьの変化		
		14週	総復習		前期の学習事項の復習を行う		
		15週	期末試験		既習事項の確認を行う		
		16週	成績確認		成績評価・確認を行う		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3		
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3		
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3		

分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	
				円滑なコミュニケーションのために図表を用意できる。	3	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰返し、ボディランゲージなど)。	3	
				他者の意見を聞き合意形成することができる。	3	
				合意形成のために会話を成立させることができる。	3	
				グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	3	
				書籍、インターネット、アンケート等により必要な情報を適切に収集することができる。	3	
				収集した情報の取捨選択・整理・分類などにより、活用すべき情報を選択できる。	3	
				収集した情報源や引用元などの信頼性・正確性に配慮する必要があることを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、発信する内容及びその影響範囲について自己責任が発生することを知っている。	3	
				情報発信にあたっては、個人情報および著作権への配慮が必要であることを知っている。	3	
				目的や対象者に応じて適切なツールや手法を用いて正しく情報発信(プレゼンテーション)できる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0